第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	地域交流セン	/ター運営管理	里委託事業		事業期間	平成	18年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-1	他に関連する 基本事業	6-1-1					所管課係	社会教育課社会教育係
(何のために実施する	通じて東西への	回遊性向上と中心	うの自主事業によ 市街地の活性化促 間ならではの効率	進、日常的な賑活 を表する。	わいと交流拠点施設	としていくた	めの土台となる運	手段 (どのような方法で 実現するのか)	PO法人ゆうの村		局員、正会員(理			な賑わいを創出するとともに、N が新たな芸術文化、各種イベント
対象 (誰・何を対象として いるのか)	指定管理団体(1	NPO法人ゆう)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	対する愛着度が「	向上して利用者数	利用料金の増加	につながる。また	と市街地と隣接した	う意識が広がり、利用者の施設に た交流センターでの自主事業を展 朝待でき、賑わい交流拠点が形成
事業開始時の状況 緯	・これまじの栓	NPO法人が指	一ゆうは、市民会館 定管理者となり、独 小限の事務費、自3	は自の自主事業の)展開や利活用団体	に対するPR	行うなど、効率的で	· 効果的な管理運営	が行われている。					

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第1年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第8年次 第9年次 第2年次 実施3カ年 実施3カ年 第7年次 第10年次 実施4カ年 総合計画 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 方 予算計上額 19, 800, 000 38, 900, 000 18, 800, 000 77, 500, 000 16, 000, 000 16, 600, 000 32, 600, 000 110, 100, 000 投 16, 000, 000 16, 000, 000 26, 500, 000 33, 800, 000 実 績 額 50, 000, 000 110, 300, 00 126, 300, 000 計 画 額 0 予算計上額 829,000 15, 978, 000 43, 541, 000 60, 348, 000 60, 348, 000 さ 実 績 額 計画額 61, 097, 000 61, 097, 000 61, 097, 000 183, 291, 000 80, 142, 000 78, 741, 000 78, 741, 000 237, 624, 000 74, 741, 000 78, 741, 000 78, 741, 000 78, 741, 000 310, 964, 00 731, 879, 000 - 般 財 源 41, 236, 000 予算計上額 9, 811, 000 15, 247, 000 66, 294, 00 64, 142, 000 63, 353, 000 127, 495, 000 193, 789, 000 実 績 額 15, 420, 429 42, 768, 009 41, 426, 043 99, 614, 481 59, 565, 752 59, 565, 75 159, 180, 233 計画額 事業費合計 61, 097, 000 61, 097, 000 61, 097, 000 183, 291, 00 80, 142, 000 78, 741, 000 78, 741, 00 237, 624, 000 74, 741, 000 78, 741, 000 78, 741, 000 78, 741, 000 310, 964, 00 731, 879, 000 予算計上額 61, 865, 000 64, 689, 000 77, 588, 000 204, 142, 000 80, 142, 000 79, 953, 000 160, 095, 000 364, 237, 000 実 績 額 65, 420, 429 69, 268, 009 75, 226, 043 209, 914, 481 75, 565, 75 75, 565, 75 285, 480, 233 委託料 委託料 委託料 委託料 費 61.865千円 64. 689千円 77. 588千円 80.142千円 79.953千円 事業費予算の の 内容 推 小破修繕以外を 維持管理経費等 維持管理経費等 直営化したこと の増による委託 の増による委託 維持管理経費等 維持管理経費等 の増による委託 の減による委託 前年度予算と による委託料経 料経費の増 料経費の増 料の増 料の減 の比較 費の減 (増減理由) 維持管理経費等 維持管理経費等 光熱水費の減に 光熱水費、人件 の増による委託 の増による委託 よる委託料の減 費の減による委 実績との比較 料経費の増 料経費の増 託料の減 (増減理由)

動指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:利用回数	牧		指標の求め方:於	施設の年間利用回	数								
果指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:利用者数	汝		指標の求め方:カ	施設の年間利用者	及び来館者数計								
				第 1 次実施	53カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計合
指	活動指標 (単位/叵		2, 410 1, 569	2, 450 2, 506			2, 670 2, 489	2,000	2, 570		2, 650	2, 690	2, 730	2, 770		
標	成果指標	1 計画値	59, 270	59, 370	60, 470		61, 570	62, 715	63, 820		64, 920	66, 020	67, 120	68, 260		
		成度	24, 782	44, 789	50, 539	達成されている	49, 048									
		腰をもとに評価)				上がっている										
		対する成果)				変わらない										
	総合評価		4 = 0 IS	4 7 0 15	4 = 0.15	良好である	0 IS	4 - 0 15	0 K	dot het TD d		4 7 0 15	±= 0.15	0 K	ded block TOTAL	
評価内容	â	炎合評価の判 懈	新ル響標き活体染き活体染を等した。	新ルがす営標成外控中計かす営標成外控中計かなす営標成外控中計が成値を やら指及のではし出え、値のではし出え、値のではしまが成値にものが成値にものが成値を対しませば、	新ル類様常た動を成値た上回 コロ染行活戻にはし標しまで、 リカーないとでは、 リカーないでは、 リカーなが、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーないでは、 リカーなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり	新ル響がなか策指夫向い成かない策指大向い成がないで、現代では、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のでは、	芸対慣利動標にがでゆうない。 大るなは標もしなにない、 大るなは標もしないでは、 大るでは標もしなにないでは、 はおいりでは、 大ののが、 大ののでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 大のでは、 、 大のでは、 、 はのでは、 は		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	

		(成果指標をもとに評価)				上がっている									
		事業の効率性				変わらない									
		(事業費に対する成果)													
		総合評価				良好である		 							
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断理由または指標	新ル響標き活体染の中がたり、 いかだり はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	ルがす営標成外控中計か利しき、 ・一般を活動を 利・標びの回をたい ・一般を活動を 利・標ばの回っまたく ・一般をではし出え、値にも数年回 ・一般をでは、一般をできませる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできまななる。 ・一般をできななる。 ・一般をできななる。 ・一般をできななる。 ・一般をできなななななななる。 ・一般をできななる。 ・一般をできなななる。 ・一般をできなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	ル類様常た動を成値た上な地効た識な代々時に指導に対しているである。 いん いん いん いん いん いん は でん いん は でん いん に 根 に し いん	ル響がなた策指夫向い成が効もて踏価という。 では、大学など、大学など、大学など、大学のでは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学を	芸対慣利動標にがでゆあ展間芸醸脈術すが正指と達、あうる開交術成われんと、は、これでいい、いいでは、これでいい、いいでいい、いいでいい、いいでいい、、いいでいい、、いいでいい、、いいでいい、、のののでいる事、市意常流にでいる。大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続									
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	形: 型 マイパス できません できません できません できまる できまる できまる できまる できまる できません できない はんしん いいい はい いい い	客ち込んだ時期も 令和5年度に新 られたことに伴い られる。市内外か 見在の施設機能を	あったが指定管理 型コロナウイルス 、コロナ前同様に らの評価は高く、	者の工夫により 感染症が5類感 施設も稼働して 事業も定着して	R8 :			R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	地域交流セン	ター大規模改	7修事業		事業期間	令和	3年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-4-1	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	地域交流センター 用できる施設環境	−の既存設備・備 意を維持・保全す	品等の改修・更新 [:] るため。	を効果的・効率的	- 内・計画的に推進す	ることにより、	、安心・安全に活	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設・備品等を点	原検し、所要の改 り	修・更新を推進す	る。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	地域交流センター	-						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市設備・備品のお心・安全に使用で	枚障が原因で施設∶ ごきる。	利用者の主催・来	場者が予定した『	¥の使用できなく	なる事態を回避し、事故なく安
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	地域交流センター	は平成18年度の頭	- 建設後15年が経過	し、主要施設設備	・建物に係るブ	大規模改修を行うぬ	必要が生じてきてい	るため、指定管理	里者と連携・協議?	を図りながら計画	ーーー 的に改修できるよ	う、令和3年度よ	り新たな事務事業とした。

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額		9, 801, 000		9, 801, 000				0					0	9, 801, 000
			実 績 額		0		0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0	72, 900, 000	34, 500, 000		107, 400, 000					0	107, 400, 000
投			予算計上額		1, 000, 000		1, 000, 000	72, 900, 000	86, 100, 000		159, 000, 000					0	160, 000, 000
			実績額		0	32, 500, 000	32, 500, 000	69, 600, 000			69, 600, 000					0	102, 100, 000
入	その	他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額	2, 599, 000	56, 188, 000	34, 132, 000	92, 919, 000				0					0	92, 919, 000
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般 財	源	計画額	2, 599, 000	179, 594, 000	82, 772, 000	264, 965, 000	58, 110, 000	153, 834, 000		211, 944, 000	16, 000, 000			40, 156, 000	56, 156, 000	533, 065, 000
+.			予算計上額	0	89, 000	34, 200, 000	34, 289, 000	58, 110, 000	40, 048, 000		98, 158, 000					0	132, 447, 000
<i>t</i> =			実績額	3, 860, 000	65, 578, 700	33, 144, 150	102, 582, 850	57, 469, 250			57, 469, 250					0	160, 052, 100
事	事業費合	計	計画額	2, 599, 000	179, 594, 000	82, 772, 000	264, 965, 000	131, 010, 000	188, 334, 000	0	319, 344, 000	16, 000, 000	0	0	40, 156, 000	56, 156, 000	640, 465, 000
			予算計上額	2, 599, 000	67, 078, 000	68, 332, 000	138, 009, 000	131, 010, 000	126, 148, 000	0	257, 158, 000	0	0	0	0	0	395, 167, 000
業			実績額	3, 860, 000	65, 578, 700	65, 644, 150	135, 082, 850	127, 069, 250	0	0	127, 069, 250	0	0	0	0	0	262, 152, 100
費の推	事業費予算 内容	算の		修繕料 2,599千円	工事請負費 67,078千円	工事請負費 68,332千円		修繕料 308千円 工事請負費 130,702千円	工事請負費 126,148千円								
移	前年度予算 の比較 (増減理日				大規模改修工事 予定等の決定に よる増			計画的な大規模 改修に加えて必 要な改修が増え たことによる増	の内容決定によ								
	実績との比 (増減理由			緊急修繕に係る 経費の増	入札による減	入札による減		入札による減									

	い作物																
活重	指標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:利用回数	钕		指標の求め方:加	西設の年間利用回	数								
成果	指標1	(「成果」を	きもとに設定)	指標名:施設設備	前の故障による使.	用不能回数	指標の求め方:加	記設強備の故障に	よる使用不能回数								
					第 1 次宝施	(3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			笙	3次実施4カ年計	+面		*** - ***
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合計
		活動指標 1	計画値	2, 410	2, 450	2, 490		2, 670	2, 530	2, 570		2, 650	2, 690	2, 730			
	指	(単位/回)		1, 569	2, 506	2, 596		2, 489			-			·-·			
	標	成果指標 1	計画値	0	0	0		0	0	(0	0	0	0		
		(単位/回)) 実績値	0	0	0		0									
		事業の達成					達成されている										
		事業の成果					変わらない										
		(成果指標 事業の効率	をもとに評価)														
		(事業費に	対する成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	容	理の	会評価の判断 自または指標 実績値に関す 自己分析	指連て画駐備もラやを用心よの図新ル に携、し車の適一ポ行者にう雑っ型ス 理協初いや修、連プ、安用設・。口染 理協初いや修、連プ、安用設・。口染 で、安田設・の一般ででの保 ・力に が、で、で、で、で、の の、前別設に 管繕利安る境を イ影ののが の、のの が の、が の、が の、が の、が の、が の、が の、が の	新ルがす設動を定携画行台ラ的型ス建るを指達管・協った一般では、大きないが、からないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、たらないが、まないが、たいからないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、からないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないかいが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、な	新ル類様常た動を指携計行調な施全め、型スに々時こ指達定・画っ設修器の密を、口染行活戻にはし理議なほのを維っ果ナ症し動っよ計た者を改か緊行特には、世職なほのを維っ果かが、がてり画。と行修、急い・た標けで、 平き活値 連いを空的、保 はくち	活指値心でをる成効もて踏価るた動標を・き株こ果率大いまは」。とは、このでは、良判断が出た。では、このでは、は、このでは、このでは、このでは、一つでなどのでは、一つでなどのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	コ芸対慣使動にた開経加が、に習設活値 が増 るいりが 18 終系のでは戻し かし向に定 かしらに定 かいらいに から 18 終系の 18 終 18	百亿分和。	□ □ 7 01.	刊即华田		百已为初。			刊劇怪田.	
		今後の方向	竹性				現状のまま継続										
				R5 :				R8 :				R10 :				<u> </u>	
	改善、	生の判断理 改革の内3 R8、R10)	曲	建設後16年が経過 必要がある。指定	過し、主要施設設 定管理者との連携 計画的に改修で	協議を行いなが	ら施設設備の現										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域交流セン	ター備品等素	を備事業		事業期間	令和	3年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	故障等により使用 することにより、	月不能となった地 施設利用に支障	域交流センターに を生じさせないよ	設置している備品 うにすることを目	- 品を更新または、施 目的とする。	西設利用上必須 。	となる備品を購ん	手段 (どのような方法で 実現するのか)		者であるNPO法 適切な規格の備品		態を情報を共有し	,把握しつつ、設	置備品と同等または後継機種とな
対象 (誰・何を対象として いるのか)	地域交流センター	-						成果 (どのような効果が 得られるのか)	備品が使用不能なくなる。	となって、施設が	利用できない事態	にならないよう道	適切に更新するこ	とにより、施設利用に支障が生じ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	地域交流センタ-	ーは平成18年度の3	建設後15年が経過	し、維持管理につ	いて施設設備・	・備品の更新を行	う必要が生じてき	ているため、指定管	管理者と連携・協	議を図りながら計	画的に更新できる	よう、令和3年原	ほより新たな事務事業とした。

[DO]

実績

			第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
道費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
地 方 債	計画額				0				0					0	0
投	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
入その他	計画額				0				0					0	0
t	予算計上額	3, 632, 000	1, 174, 000		4, 806, 000				0					0	4, 806, 000
	実績額	3, 437, 000	1, 155, 000		4, 592, 000				0					0	4, 592, 000
れ 一般財源	計画額	6, 315, 000	65, 000	294, 000	6, 674, 000	660, 000	2, 562, 000		3, 222, 000	2, 321, 000	10, 000		31, 000	2, 362, 000	12, 258, 000
	予算計上額	2, 683, 000	89, 000	142, 000	2, 914, 000	660, 000	952, 000		1, 612, 000					0	4, 526, 000
た	実績額	2, 455, 700	88, 440	133, 430	2, 677, 570	649, 000			649, 000					0	3, 326, 570
事業費合計	計画額	6, 315, 000	65, 000	294, 000	6, 674, 000	660, 000	2, 562, 000	0	3, 222, 000	2, 321, 000	10, 000	0	31, 000	2, 362, 000	12, 258, 000
	予算計上額	6, 315, 000	1, 263, 000	142, 000	7, 720, 000	660, 000	952, 000	0	1, 612, 000	0	0	0	0	0	9, 332, 000
業	実 績 額	5, 892, 700	1, 243, 440	133, 430	7, 269, 570	649, 000	0	0	649, 000	0	0	0	0	0	7, 918, 570
費				備品購入費			備品購入費								
事業費予算の		6,315千円	1,263千円	142千円		660千円	952千円								
の一内容															
144															
推			購入予定備品の	唯1マウ供口の		唯 1 マウ 供口の	購入予定備品の								
移			映入アを頒品の 決定による減				購入予定舗品の 決定による増								
前年度予算と			XX.12.5 011X	XX105 011X		人たにひむる	人たにひ む省								
(増減理由)															
		入札・見積合わ	入札による減	見積合わせによ		見積合わせによ									
実績との比較		せによる減		る減		る減									
美粮との比較(増減理由)															
(

181	# V/ 1E1	שרדום ייפו	4														
活	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:利用回	数		指標の求め方:加	施設の年間利用回	数								
成:	果指標	1 (「成!	果」をもとに設定)	指標名:施設設(備の故障による年	間不能回数	指標の求め方:加	施設設備の故障に	よる年間不能回数								
					第 1 次 軍 が	13カ年計画	•		筆 ク 次 室 旅	3 力年計画			竿	3次実施4力年記	計画		7/r = ++0
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合計
		活動指	f標 1 計画値					2, 670	2, 670	2, 670		2, 650	2, 690	2, 730			
	指		7/回/年) 実績値		.4	. 4		2, 489									
	標	成果指	f標 1 計画値	i 0	0	0		0	0	(o l	0	0	0	0		
			江/回/年) 実績値	i 0	0	0		0									
)達成度				達成されている										
			指標をもとに評価)	1			達成されている										
		事業の					変わらない										
			指標をもとに評価)	l e													
)効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合評					良好である										
		松口計	T 1W	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				指定管理者との	新型コロナウイ	新型コロナウイ	活動指標・成果	コロナ禍以降、		B C 7 1/1 .	刊例程田.	日日月初1.	B C 7 101 .		6 C J W .	刊剧建田.	
							指標ともに計画										
				て、計画してい	が進み臨時休館	類に移行し、	値を達成し、安 心・安全に活用	対する人々の省 僧が恋化 施設									
				イヤレスマイク	設を運営し、活	常時に戻ってき	できる施設環境	使用は減少、活									
				の面新笑を行	動指揮化計兩值	たことに上り活	を維持・保全す	動指揮付計兩值									
				い、施設利用者	を達成した。指	動指標は計画値	ることに一定の 成果があった。	に達しなかっ									
事				か女王・女心に活用できるよう	正官理有と理 携・協議1. て計	を達成した。 指定管理者と連	成果があった。 効率性について	に。 開館から18年が									
	評価			施設の環境の維	画的な備品整備	携・協議を行い	も大きく変化し	経過し既存備品									
矜				持・保全を図っ	を行い、施設の	計画的な備品整	ていないことを	の故障等が増加									
32	容		60 A =T IT = 100 No	た。			踏まえ、総合評										
			総合評価の判断	新型コロナウイ ルス感染症の影	を凶り放果指標 け計画値を達成	の 境現維持・保	価は「艮好でめる」と判断し	指疋官埋石と連 携・協議し計画									
事	;		の実績値に関す	- 響により活動自	した。	め、成果指標は	た。	的な備品整備を									
			る自己分析	粛や臨時休館を		計画値を達成し		行い、施設の環									
業				行ったため、活 動指標は計画値		た。		境維持・保全を 図っているため									
				を大きく下回っ				成果指標の計画									
==				た。成果指標は				値を達成した。									
哥	·			計画値を達成した。													
				1/													
佃	i																
		今後σ	方向性				現状のまま継続										
		R5: 建业外16年代经况 主带型牌,借品内面					- エジナ ピーナー	R8 :				R10 :					
		建設後16年が経過し、主要設備・備品の更業 いる。指定管理者との連携・協議を行いなた															
					目との建筑・励職 更新できるよう「												
												1					
		lat a second	det am d									1					
		性の判題 、改革の										1					
		、以里(、R8、F										1					
	,,,0																
												1					
												1					
												1					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	市民文化祭実	行委員会交付	士金事業		事業期間	昭和	143年度 ~	— 年度]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
(何のために実施する	自らが企画・運営 してもらうことで の関心を高め、研	:、その学習成果	の地域への還元及7	ての市民が日頃(が技術面・活動)	- の成果を発表する場 意欲の向上を図ると	易を設け、また ともに、一般	:、多くの人に鑑賞 市民の文化活動へ	手段 (どのような方法で 実現するのか)		軍営全般にわたり				ーサークル・一般参加団体・個 員会に交付金を交付することによ
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民文化祭実行	員会						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民文化祭に多く機会が確保される		賞してもらうこと	こにより、学習成!	果の地域への還元	や技術面・活動意欲の向上を図る
事業開始時の状況 緯	・これまでの栓	また、平成20年月	隻より行財政改革力	針により交付金	・発表する場として 会額の10%削減を行 対育係へ事務移管と	った。	る、砂川市民文化	祭の経費の全額分を	交付金として支出	出している。				

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	総合計画合計
		z	費	計画額	(3年度)	(4年度)	(5年度)	п п	(0年度)	(7年度)	(8年度)	II III	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	<u>п</u>	
	国	3		予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道	2		計画額				0				0					0	0
	追	3		予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方(計画額				0		_		0					0	0
		<i>J</i> J 1		予算計上額	300, 000			300, 000				0					0	300, 000
投				実 績 額	300, 000			300, 000				0					0	300, 000
入	z	の fi		計画額	U			0		_		0					0	0
1	-ر	ון כט	_	予算計上額				0				0					0	0
さ				実 績 額				0				0					0	0
h	_ A	り 財 派		計画額	324, 000	324, 000	324, 000	972, 000	324, 000	324, 000	324, 000	972, 000	324, 000	324, 000	324, 000	324, 000	1, 296, 000	3, 240, 000
10	— н	Z 197 //		予算計上額	24, 000				324, 000	021,000	324, 000	648, 000	324, 000	324, 000	324, 000	324, 000	1, 290, 000	1, 320, 000
た				実 績 額	24, 000	,			324, 000	,		324, 000					0	972, 000
		費合言		計画額	324, 000	,	324, 000	972, 000			324, 000	972, 000	324, 000	324, 000	324, 000	324, 000	1, 296, 000	3, 240, 000
事	尹 未	吳口高		予算計上額	324, 000		324, 000	972, 000	324, 000	021,000	324, 000	648, 000	324, 000	324, 000	324, 000	324, 000	1, 290, 000	1, 620, 000
業				実 績 額	324, 000	324, 000	324, 000	648, 000	324, 000		0	324, 000	0	0	0	0	0	972, 000
_			-		か川市民文化祭		砂川市民文化祭	040, 000		砂川市民文化祭	0	324, 000	0	0	U	U	0	972, 000
費					交付金 324千	砂川市民文化祭 交付金 324千	交付金 324千		交付金 324千	交付金 324千円								
	事業	費予算の	の		円	円	円		円									
の		内容																
推																		
					前年度同額	前年度同額	前年度と同額		前年度同額	同額								
移	前年	度予算と	با															
	σ,)比較	_															
	(増	減理由))															
					新型コロナウイ	同額	同額		同額									
	実績	との比輔	較		ルス感染症拡大 防止対策のため													
		減理由)			事業を中止した													
					ことによる減													
						<u>s</u>	1		ш			0	0	1				

11	保い:	正抄	• 評価															
77	動指	票 1	(「手段」をもる	:に設定)	指標名:交付金額	額(砂川市民文化务	医実行委員会交付金	指標の求め方:ダ	を付金額(砂川市)	民文化祭実行委員会	会交付金)							
F	果指	票 1	(「成果」をもる	(に設定)	指標名:市民文化	比祭市民参加率		指標の求め方:	(出演・発表者数	+鑑賞者数)/住身	民基本台帳人口((3月末)×100						
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		1	舌動指標 1	計画値	324, 000	324, 000	324, 000		324, 000	324, 000	324, 000		500, 000	324, 000	324, 000	324, 000		
	‡	æ	(単位/円)	実績値	0	324, 000	324, 000		324, 000									
	1	示	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	15. 0	14. 5 6. 3	14. 5 7. 8		14. 0 10. 1	14. 0	13. 5		13. 5	13. 0	13. 0	12. 5		
	H		事業の達成度	美 類 他	_	0. 3	1.8		10. 1									
		L	(活動指標をも	らとに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	らとに評価)				変わらない										
			事業の効率性 (事業費に対す	「る成果)				少し上がっている										
		;	総合評価					良好である										
			理由の実		き実のら員開り砂動与った紅体へとなったが、織か役で、に活客では、川をしていたが、織か役で、に活客では、川をしている。 いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	の行年と賞も口染や化いすがを民の行年と賞も口染や化いすがを民意った。大田の一次の一次で表述の中の業別可実体のつの業別で、大田でをにいて、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で、大田で	値初交た成値た度発者しがを民触供を予会し、通と はないすると表数、実行いへれるが定額 標しの較数も行的つ化機とはないす。またいでは、対ないが、対ないが、対なが、対なが、対なが、対なが、対なが、対なが、対なが、対なが、対なが、対な	行年と賞も口染や化いすがを民触供たと発し、大変を表の大連事活るる主行にれる。比表減、イ拡企を体行的つ化機というで、大変にいたるを発しの方ので、大変にの活をがした。現れが、大道でで、大道では、対して、大道で、大道では、対して、大道では、対して、大道を、大道では、対して、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を、大道を	値委れ源でれ成値か年しと運でと楽術りを貴たを事た、程達たよ市っを演賞み化む成へら効が、標成もり民で行・者な活機を決した用開、計なのよが企う出双が動会といれ活展、計なのようを自己双が動会をしていませ、対した、対したとっています。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		Ī	 今後の方向性					現状のまま継続										
	H	R5 :							R8 :			II	R10 :					
	改	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)		り良い方法・手具	本的に活動し、経 段を検討して、参 文化の振興を図る とした。	加者(出場・出展	・鑑賞者)も楽										

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 X ×

第3次実施4力年計画

事 業 名	文化協会支援	事業			事業期間	昭和	43年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	文化協会の運営費	を及び事業費の一	部を補助し、砂川ī	市の芸術・文化	の振興を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	·砂川市文化協会	会が主催し実施す	る文化振興事業費	どを補助する。	各協議会への負担3 興事業費を補助する	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市文化協会							成果 (どのような効果が 得られるのか)		文化の発展に寄与 民の芸術文化振興		こして設立された。	文化協会に対して社	補助金を交付することにより、活
事業開始時の状況緯	・これまでの経	また、平成20年度 その後、上部団体	度より行財政改革力 本の負担金が値下け	が針により上部区 がされたことから	ることを目的として 団体への負担金相当 5現在の補助額33,0 対育係に事務移管と	額34,100円と 00円となった。	した。	として運営費の一部	を補助している。	,				

第2次実施3力年計画

[DO]

実績

第1次実施3力年計画

第1年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 第2年次 実施3カ年 実施3カ年 第7年次 実施4カ年 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 地 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 520, 000 520,000 520,000 1, 560, 00 660, 000 520, 000 520,000 1, 700, 000 520, 000 520, 000 520, 000 520, 000 2, 080, 00 5, 340, 000 予算計上額 520, 000 520,000 520,000 1, 560, 00 660,000 520, 000 1, 180, 000 2, 740, 000 実 績 額 231, 200 214, 100 408. 844 854, 144 476, 385 476, 38 1, 330, 529 計画額 660, 00 事業費合計 520, 000 520, 000 520, 00 1, 560, 00 520, 000 520, 00 1, 700, 000 520, 000 520, 00 520, 00 520, 000 2, 080, 00 5, 340, 000 予算計上額 520, 000 520, 000 1, 560, 00 660,000 520, 000 1, 180, 000 2, 740, 000 520, 000 実 績 額 231, 200 214, 100 408, 844 854, 144 476, 38 476, 38 1, 330, 529 文化協会補助金 37千円 文化協会補助金 文化協会補助金 文化協会補助金 文化協会補助金 費 37千円 37**∓**P 37千円 37**∓**P 文化振興事業補助金 文化振興事業補助 文化振興事業補助 文化振興事業補助 文化振興事業補助 事業費予算の 340千円 の 200千円 金 200千円 200 T F 340千円 金 200千円 みんなの音楽まつり みんなの音楽まつり 内容 みんなの音楽まつ みんなの音楽まつ みんなの音楽まつ り交付金 283千円 り交付金 283千円 り交付金 283千円 交付金 283千円 り交付金 283千円 推 みんなの音楽ま 前年度同額 前年度と同額 「空知管内郷土」「空知管内郷土 つり実施内容見 芸術祭兼道民芸 芸術祭兼道民芸 前年度予算と 直しによる交付 術祭」開催地負 術祭」開催地負 の比較 担金の増 金の減 担金の減 (増減理由) 新型コロナウイルス感染 「空知管内郷土芸術祭」上部団体負担金 新型コウイル 感染 「空知管内郷土美特宗 最近大防止対策の新型コウイル 感染症症 ため「みんなの音大防止対策のため「みんなの音楽 楽まつり」を中止 人なの音楽まつり」を したことによる滅 か上したことによる滅 33千円 文化協会補助金 (上部団体負担 実績との比較 金)の減 みんなの音楽ま (増減理由) つり事業内容決

定による減

(単付:円)

3	旨標の!	生移	・評価															
;	舌動指	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:補助金額	額		指標の求め方:補	助金額									
J	成果指	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:文化協会	会加盟団体合計会	員数	指標の求め方:文	て化協会加盟団体	合計会員数								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	ŧ		舌動指標 1 (単位/円)	計画値実績値	588, 000 231, 200	588, 000 214, 100	588, 000 408, 844		588, 000 476, 385	588, 000	588, 000)	588, 000	588, 000	588, 000	588, 000		
	Į,	票	成果指標 1	計画値	170		160		160	150	150		140	140	130	130		
		_	(単位/人)	実績値	_	131	131		150									
		(事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない										
			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				上がっている										
П		á	総合評価					良好である										
	事務事業評価	与	理由書	平価の判断標 たは指標 責値に関す	が実で振が会化なたも文のつこ定た生能、異でのすが、得化のなと程実により、割こた民れ振識つら目積をすたき役るつ市らの意がか度実とと。の、興付ても的は上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上ま参市のけい、を上まをのと協確つが見いい、を上まが表すが表す。	が実で振が会化なたも文めつこ定たが、実と化これで、得にのない程とで、別でのすが、得化のなど程すった民れ振識から目績を事こ文る文をととの、別でもの意がの度実で、現代でも的はて、としい、を上い、を上い、を上いる、は、のと協確つが良いである。	指画か市催援民図文を 標値っ文すす文る化明 とにた化るる化と会化と はな砂がをで興に役る はな砂がをで興に役る はな砂がをで興に役る	砂が実で振が会化なたも文めつこ定たがりるた川主施、興でのすが、骨化のなど程すっ、」。市催す市をき役るっ市らの意がか度実で「と市催す市ををとるった民れ振識つら目績き良判にま参市のけい、を上おでした。 、	値か市営事音業す続活え成でばのり術をつな登の振なの相、文と、まをこなのい指計か年砂に成が協文みつーと芸基る標画っ度川振成が協文みつーと芸基る標画っ度川振いまで所盤。に値たを市興川振りで、文を つにも上のの、 いるの回芸中は、 いるの回芸中	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	今後の方向性					現状のまま継続										
					R5: カル协会の注動:	た古怪する声楽し	して心声でもリ	小川本の芸術・	R8 :				R10 :					
	改	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)		文化振興を図る耳	を支援する事業と 取組について、文 とから、「現状の	化協会と協議しな	がら事業内容を										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	指定文化財保	存活用事業			事業期間	平成	20年度 ~ -	- 年度				1.		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的(何のために実施するのか)	砂川市の指定文(める。	比財を適切に保存	し、有効に活用す	ることにより、i	- 市民の郷土に対する	認識や文化財	に対する理解を深	(どのような方法で	の媒体を介するな	などして周知、活	り指定した文化財 動記録の保存を行 調査審議等を行う	う。また、文化財	Bすながわ」、オ↑ オ保護審議会を開作	アシス通信、公式ホームページ等 催し、砂川市の歴史・文化・自然
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	各種媒体により原 審議会より文化則	問知することによ 財に関する見識が	って、砂川市指定 得られる。	文化財の認識や理	里解を深める機会;	が確保できる。また、文化財保護
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成20年に「街頭 令和6年度より2	頭もちつき」を砂り 公民館管理係かられ	l市の無形民俗が t会教育課社会教	て化財として指定し 対育係へ事務移管と	、その保持団(なった。	本に「砂川もちつき	を保存会」を指定し	<i>t</i> =.					

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額	(= 1,2,7	(11,27	(-1,2/	0		\\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(-1,2)	0	\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(12 1)	(** *	(12 1 22)	0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
± ≥			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— A	投 財 源		72, 000	72, 000		,	71, 000	,	71, 000		71, 000	71, 000	71, 000	71, 000	284, 000	713, 000
+.			予算計上額	72, 000	72, 000		215, 000	71, 000	,		142, 000					0	357, 000
た			実 績 額	35, 150	65, 380		130, 910	65, 550			65, 550					0	196, 460
事	事 業	費合計		72, 000	72, 000	72, 000	216, 000	71, 000	,	71, 000	213, 000	71, 000	71, 000	71, 000	71, 000	284, 000	713, 000
			予算計上額	72, 000	72, 000	71, 000	215, 000	71, 000	71, 000	0	142, 000	0	0	0	0	0	357, 000
業			実 績 額	35, 150	65, 380	30, 380	130, 910	65, 550	0	0	65, 550	0	0	0	0	0	196, 460
費				委員報酬 69千円	委員報酬 69千円	委員報酬 69千円		委員報酬 69千	委員報酬 69千								
	事業	費予算の			費用弁償	費用弁償		□ 費用弁償 2千円	口 費用弁償 2千円								
の		内容		3千円	3千円	2千円											
推																	
711	-			前年度同額	前年度同額	費用弁償の減		前年度同額	同額								
移	前在	度予算と		加一及門頭	加干及问题	夏州万良 07/18		的干及问题	1111111								
	10年	及ア昇 ⊂)比較															
		減理由)															
				開催回数の減	委員1名欠席	開催回数の減及		委員欠席による									
	実績	との比較				び委員欠席によ る委員報酬・費		委員報酬の減									
	(増	減理由)				用弁償の減											
									-								

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:①指定文化財情報提供回数 ②文化財保護	指標の求め方:①指定文化財情報提供回数をカウント ②文化財保護審議会開催回数をカウント
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:文化財関連事業市民参加率	指標の求め方:文化財関連事業市民参加者数/住民基本台帳人口(3月末)×100

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	T	沽動指標 1	: =1 == /±	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度) ①3、②2	(8年度)	合 計	(9年度) (1)3、②2	(10年度) ①3、②2	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	(単位/①回、 ②回)		①3、②2 ③2、②1	①3、②2 ① 2、② 2	①3、②2 ①1、②1		①3、②2 ①3、②2	⊕3、⊘2	⊕3、⊘2		①3、②Z	①3、 ② Z	①3、②2	13, 22		
	標	成果指標 1	計画値	1. 76		1.71		1.68	1. 65	1. 62		1. 59	1.56	1. 53	1. 50		
		(単位/%)	実績値	_	0. 08	0.04		1. 28									
		事業の達成度(活動指標をもる	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもる	とに証価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性(事業費に対する					少し上がっている										
		総合評価	01%本/				良好である										
事務事業評価	評価内容	7 押 山 丰	価の判断 たは関す 値に関す 分析	でち川会保ではかのき祭あす財をでち川会保ではかのき祭った。 度な末 士が対化解深のはいた。 度な末 士が対化解状態の設めた。 度な末 士が対化解状態の設めています。 度な末 士が対化解深しい。	て、令和4年度 は実施に至らな かったが、年末	でち川会保りはか指と達た実に頭道動あつもに存、実っ標も低。施は特義ならきたくの施と、にして、つ士どのようになるであれて5至め果画かっまやで郷明、保動お年ら活指値ったの北の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の土の	でち川会保ではかのき祭あす財をめてであい会保ではかのき祭あす財をめているされるされるされるされるされるされるはのでは、実っ街、なるではなきが、関いないが、できればいるでは、できればいるでは、できればいる。 度な末 土が対化解深っ好断も砂存、 度な末 土が対化解深っ好断も砂存、	文「きに動き成値たがを再ないをは、動きない。面の民財団がもちさはし標しのの識でもちさはし標しのの識は標準のの識がであり、といいでもちがを再ない。といいでは、大きない。のでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないができない。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		ら、連携体制を紹 化財保護審議会委	・ かためには保持団 を受けるでは、 を負として活動の をして活動の のでいく必要があ	推持などに努めて 充実を図っていく	要であることか いく。また、文 ため、文化財に	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	史跡記念碑・	標柱等修繕事	業		事業期間	令和	3年度 ~	— 年度]				•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	市の歴史を後世しの労苦を偲ぶ機会		碑・標柱等を修繕	して良好な状態	- を保ちつつ管理し、	郷土に対する	愛着を育み、先人	手段 (どのような方法で 実現するのか)	定期的に史跡記るよう、計画的	念碑・標柱等を点 に改修・管理を行	検し、破損・劣化 い、管理していく	の程度を把握して	つつ、長期的視点が	から、もっとも経済的な費用とな
対象 (誰・何を対象として いるのか)	史跡記念碑・標構	主等						成果 (どのような効果が 得られるのか)	史跡記念碑・標 とができる。	柱等を適切に管理	することにより後	世に継承でき、組	郷土に対する愛着?	を深め、先人の労苦を理解するこ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	市内各所に点在す	する史跡記念碑・様 公民館管理係かられ	票柱等が経年劣化 ±会教育課社会教	としてきたことから 対育係へ事務移管と	、令和3年度。なった。	より破損・劣化の	程度に応じて事業を	開始。					

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地フ	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実 績 額				0				0					0	0
入	そ (の他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額	1, 886, 000			1, 886, 000				0					0	1, 886, 000
			実 績 額	1, 762, 394			1, 762, 394				0					0	1, 762, 394
れ	一般	財源	計画額	1, 886, 000	2, 942, 000		6, 219, 000	1, 260, 000			1, 260, 000					0	7, 479, 000
<i>t</i> =			予算計上額		1, 501, 000		2, 721, 000	1, 260, 000	_		1, 260, 000					0	3, 981, 000
12			実 績 額		1, 348, 430		2, 558, 430	1, 259, 500			1, 259, 500					0	3, 817, 930
事	事業	費 合 計	計画額	1, 886, 000	2, 942, 000	1, 391, 000	6, 219, 000		0	0	1, 260, 000	0	0	0	0	0	7, 479, 000
			予算計上額	1, 886, 000	1, 501, 000	1, 220, 000	4, 607, 000	1, 260, 000	0	0	1, 260, 000	0	0	0	0	0	5, 867, 000
業			実 績 額	1, 762, 394		1, 210, 000	4, 320, 824	1, 259, 500	0	0	1, 259, 500	0	0	0	0	0	5, 580, 324
費の推		:予算の 容		5千円 修繕料	消耗品費 5千円 修繕料 1,496千円	修繕料 1,220千円		修繕料 1260千 円									
移	前年度 のよ (増減				よる見積額の減	よる見積額の減		よる見積額の増	事業終了の為皆 減								
	実績と (増減	の比較 理由)		見積り合わせによる減	見積合せによる減	見積合わせによる減		同額									

活重	加指標 1	Ⅰ (「手段」をもと	に設定)	指標名:史跡標構	柱・開拓記念碑等	 の数	指標の求め方:5	史跡標柱・開拓記	念碑等の数								
		(「成果」をもと			柱・開拓記念碑の		指標の求め方:			回数							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	1	活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(0年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度) 21	(12年度)		
	指	(単位/基)	実績値	21				21									
	標	成果指標 1 (単位/回)	計画値	3	.1	3		3	3	3		3	3	3	3		
		事業の達成度	実績値	3	3	3		2									
		(活動指標をも	とに評価)				達成されている										
		(成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		(事業費に対す	る成果)				上がっている										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由す	たは指標 賃値に関す	定柱等いしび行いのき一的もの、必軽い、しび行いのき一的もの、必軽で、 史縛こ程達の人族をを保護師の実施をを成評がもと度成評した修た定達をのとの、として、 は、	定柱等いしび行いのきた理解・の、必要物・はなな計算をを保補画・実いた修たをを保補画・実いもとかををで、理解・との、必要が、と続いた修たと程等をした。とをは、というでは、というでは、というでは、というでは、	定柱等いして 期・の、必軽いして 行れ検をを保 業で が、必軽いた と が、と が、と が、と が、と が、と が、と が、と が、と が、と が	定柱等いしび行いのきいり、必軽いた修た良いになるとを保補画・実施を良いた修た良いたないまかまとで、実施に関するとでは、またいのでは、といいた修た良いのでは、といいのでは、これのでは	定柱等いしび行ていいしび行ていいる様のでは、 ない でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい		1 C 7 1 .	刊即华田		日 じ刀和:	1 C 7 fil	EC741.	刊即华田	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善.	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		ともに、補修や名 状態が維持される	冬場の養生など必 るよう努めていく	・標柱等の状態を 要な管理を行い、 とともに、計画的 現状のまま継続」	可能な限り長く 的に修繕を推進す	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	郷土研究会支	援事業			事業期間	昭和	31年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	郷土砂川の歴史を	後世に伝承する	ため、郷土研究誌を	を発行する団体	こ対し補助を行う。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川の歴史を伝え	承する研究誌を発	行している砂川市	7郷土研究会に補助	かをする。(定額ネ	甫助)
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市郷土研究会	ŧ						成果 (どのような効果が 得られるのか)	郷土研究誌を発行	行し、市内外の関 [・]	係機関等に配布す	ることにより砂川	の歴史を伝えてし	.,√°
事業開始時の状況緯	・これまでの程	また、行財政改革	革方針に伴い平成1	7年度に補助金額	もしている砂川市郷原を10%削減してい 対育係へ事務移管と	る。	和29年設立)に対し	、郷土研究誌「郷	土研究」の印刷書	費用を補助している	ა			

[DO]

実績

					第1次実施	63カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
١,			実績額				0				0					0	0
7	そ	の他					0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0	455 000			0					0	0
れ	- :	般 財源		155, 000				155, 000	100,000	155, 000		155, 000	155, 000	155, 000	155, 000	620, 000	1, 550, 000
<i>t</i> =			予算計上額	155, 000	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		465, 000	155, 000			310, 000					0	775, 000
		6. who A =1	実績額	154, 800			464, 400	154, 800		.==	154, 800		.==		.==	0	619, 200
事	争身	養合計		155, 000	155, 000		465, 000	155, 000	111,111	155, 000	465, 000	155, 000	155, 000	155, 000	155, 000	620, 000	1, 550, 000
業			予算計上額	155, 000	155, 000		465, 000		155, 000	0	310, 000	0	0	0	0	0	775, 000
*	_		実 績 額	154,800	,	154,800 「郷土研究」発	464, 400		「郷土研究」発	0	154, 800	0	0	Ü	0	0	619, 200
費						一脚工研究」発		「郷土研究」完 行費 155千円	- 郷土研究」発 行費 155千円								
	事業	費予算の															
O		内容															
推																	
				前年度同額	前年度同額	前年度と同額		前年度同額	同額								
移	前年	度予算と															
	(の比較															
	(堆	減理由)															
				同額	同額	同額		同額									
	実績	との比較															
	(増	減理由)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:補助金額(郷土研究会補助金)	指標の求め方:補助金額(郷土研究会補助金)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:郷土研究会合計会員数	指標の求め方:郷土研究会合計会員数

						第 1 次宝体	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画						
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画	
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計	
		活動指標			155, 000	155, 000	155, 000		155, 000	155, 000	155, 000		155, 000	155, 000	155, 000	155, 000			
	指標	(単位/円	人が		154, 800	154, 800	154, 800		154, 800										
	徐	成果指標 (単位/人			13 14				12 13	12	11		11	11	10	10			
		事業の達成	- X-120	[1]臣	14	14	14		10										
		(活動指標	をもとに評価	西)				達成されている											
		事業の成身 (成果指標	果 『をもとに評価	面)				上がっている											
		事業の効果	率性 三対する成果)					上がっている											
		総合評価						良好である											
事務事業評価	評価内容	終理のる	^{&} 合評価の 単曲ま で で を を は は で で で で で で で で で で で で で で	郷心る製て土残とらなかも	が TRT TRT TRT TRT TRT TRT TRT TR	心的な活動であ	指値土的研本こ土資活動の一個郷心る製る郷な残しにしので印成ので変表をできる動物である。 の後後でいる いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	判郷心る製て土残とらなかあた 明和の本お史すしれっらる。 また を重位もい「とので印成の世資づところで、」 ので印成の世資づとこのでの成立に とって、」 りょう いっぱい という いっぱい という いっぱい はいい という いっぱい はい	指標ともには計		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
	今後の方向性							現状のまま継続	R8 :				D10 .						
				郷± もに るこ	R5: 郷土史を後世に伝えるために重要な資料であるとともに、郷土研究誌は、郷土史を後世に伝えるために重要な資料であるとともに、郷土研究会の運営面においても主要な事業として機能していることから、教育委員会としても側面的な支援を行うため、「現状のまま継続」とした。								R10 :						

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	郷土資料収集	・管理・活用	事業		事業期間	昭和	123年度 ~	— 年度					•	<u> </u>		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	公民館管理係		
目的 (何のために実施するのか)	市の歴史を後世に有効に利活用を図	伝える郷土資料 ることにより、	について、適切に」 郷土に対する愛着・	収集・管理する。 や先人の知恵を知	- とともに、積極的な 印る機会を提供する	に周知を行い教 う。	て育資料などとして	手段 (どのような方法で 実現するのか)	市民等から情報提供を受けたなかから、砂川市に関連があり特に貴重と思われるものを重点的に収集し、適切に保存する。使用可能なものについては、教育資料として貸出しするなどして活用してもらう。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	郷土資料を適切に収集・管理することにより後世に継承することができる。また、資料の積極的な周知を行い、活用の機会を確保することにより郷土に対する理解や愛着を深めることができる。							
事業開始時の状況緯	事業開始時の状況・これまでの経 視聴覚ライブラリーや郷土資料室に保存・収集している映像や音声資料のうち、郷土資料として後世に残すべき資料を選別し平成30年度(市政施行60周年)から令和3年度までの4年にわたりデジタル化を行った。															

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画		第3次実施4カ年計画					
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
-			実 績 額				0				0					0	0
入	その	他	計画額				0				0					0	0
ż		_	予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	一般!	財源	計画額	467, 000	1, 000	,	469, 000	1, 000	.,	1, 000		1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	4, 000	476, 000
<i>t</i> =		_	予算計上額	467, 000	1, 000	1, 000	469, 000	1, 000	1, 000		2, 000					0	471, 000
12			実績額	466, 334	1, 000	1, 000	468, 334	1, 000			1, 000					0	469, 334
事	事業費	合計	計画額	467, 000	1, 000	1, 000	469, 000	1, 000	1, 000	1, 000	3, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	4, 000	476, 000
			予算計上額	467, 000	1, 000	1, 000	469, 000	1, 000	1, 000	0	2, 000	0	0	0	0	0	471, 000
業			実績額	466, 334	1,000	1, 000	468, 334	1, 000	0	0	1, 000	0	0	0	0	0	469, 334
費の推	事業費う 内容			消耗品費(用紙 代) 1千円 デジタルデータ 化委託料 466 千円	代)	消耗品費(用紙 代) 1千円		消耗品費(用紙 代) 1千円	消耗品費(用紙 代) 1千円								
移	前年度予 の比 (増減理	較		用紙代1千円は 前年度同額。デ ジタルデータ化委託 料9千円増額。	化委託料の減				前年度と同額								
	実績との (増減理	の比較里由)		資料デジタルデータ 化委託料見積合 わせ減	同額	同額		同額									

101	スマノ 1圧で	多・評価																	
活	動指標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:年度内	こ収集した資料数		指標の求め方:年度内に収集した資料数をカウント												
成	成果指標 1 (「成果」をもとに設定)			指標名:郷土資料	料室利用者市民利	用率	指標の求め方:組	『土資料室利用者	数/住民基本台帳,	人口 (3月末) × 1	100								
					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画							
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計		
		活動指標 1	計画値	50		50		50	50	50		50	50						
	指	(単位/点)	実績値	106	426	628		56											
	標	成果指標 1	計画値	10		10		10	10	10)	10	10	1(0 10				
	_	(単位/%)	実績値	3. 5	5. 7	6. 5		9											
		事業の達成度(活動指標をも	とに評価)				達成されている												
		事業の成果(成果指標をも	とに評価)				変わらない												
		事業の効率性(事業費に対す	⁻ る成果)				上がっている												
		総合評価					良好である												
事務事業訊価	評価内容	理由るの実績	平価の判断標 または関 すのた	用年少小学と活い績るア郷連報始数はりいの教有図一がラい料事を呼んでなどのが、上ボつ資名の一がラい料事を呼んでなどのが、上ボつ資名を受けたがある団育効なれのでテはにの対象を呼れる、見料利で実いイ、関情、け	用年い団育効ら定がラい料事を呼ど活画を吹い団育効ら定がラい料事を呼ど活画なと、見料利でではにのい掛郷にきない。 いまがは変い見と活い続いて、関情、け土気をといれているア郷連提加な料に係いまで、上。に土す提力な料に保証を発展関いません。	用年い団育効ら定がうい料事を呼ばない、日本の教有図ー ボつ資る供を相なのかとてで業のいまででは、し、日本の教育と、見様に、は、一、関情、は、大、の教育ので、は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	がうい料事を呼ど活画のに土す提力な料に係ってです。に土す提力な料にのい掛郷にきないは、動ででいるで、大きな関係が、動ででいるで、大きな関係が、大きな関係が、大きないのでは、たらないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、たらないのでは、はいいのでは、はいいのでは、たらないのでは、たらないのでは、はいいのでは、はいいのではないのでは、はいいのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないので	用年増の教有図ーがうい料事を呼びない。 日本時間の教有図ーがうい料事を呼びないので子はにのいてで業のい地のです。 日本語のでは、日本語のでは、日本語のでは、日本語のでは、日本語のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:			
		今後の方向性					現状のまま継続												
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5: 魅力のある資料室となるよう展示資料の入れ替えや作成、さらには郷土資料室内展示の改修を検討していく。小学校等の団体見学に利用されており学習教材として利用されている。 視聴覚ライブラリーや郷土資料室に保存・収集している映像や音声資料のうち、郷土資料として後世に残すべき資料を選別してデジタル化し、適切に管理・保存し活用する。収蔵場所の狭隘化の対策として、引き続き資料の整理を進めることから、「現状のまま継続」と判断した。				R8 :				R10 :							